

年末賞与(一時金)の支給状況 《最終集計》

- 本協会が実施した年末賞与(一時金)の支給状況調査(最終集計)では、報告のあった96社の支給額平均は47万2,916円で、前年と比べ8,075円(1.68%)下回り、3年ぶりのマイナスとなった。そのうち県内本社企業88社の平均支給額は45万6,600円(対前年8,654円、1.86%のマイナス)だった。県外企業8社では70万6,775円(同3万5,448円、4.78%のマイナス)だった。

【最終集計】令和元年年末一時金取組状況

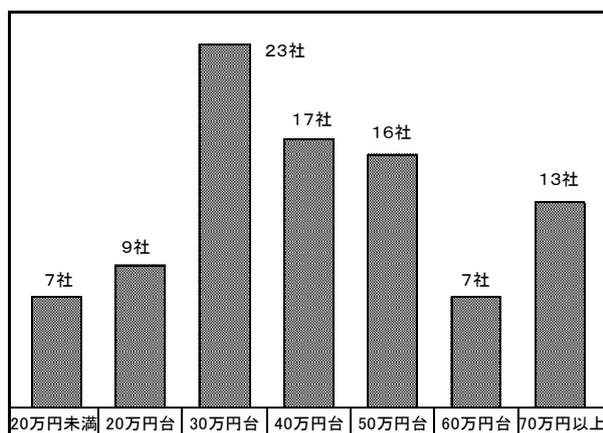
業種	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比金額(%)
製造業計	47	2.09	532,620	-2.56
化学	13	2.51	704,681	2.54
機械金属	6	1.98	532,902	-5.95
食品	4	2.10	370,254	-1.08
金属製品	4	1.72	487,067	2.90
電気機器	7	2.11	538,778	-4.44
その他	13	1.82	434,322	-5.05
非製造業計	49	1.92	413,212	0.21
運輸・通信	10	1.99	392,443	-5.89
金融	3	2.21	-	-0.84
卸・小売	15	1.92	410,186	-6.97
土木・建設	8	1.96	497,939	2.86
その他	13	1.72	374,598	20.33
全平均	96	2.00	472,916	-1.68

規模	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比金額(%)
100人未満	52	1.84	413,654	0.58
100人~199人	25	2.10	510,105	4.48
200人~499人	11	2.14	595,909	-2.62
500人以上	8	2.38	672,658	-5.94

※「-」は支給額非公表につき、数値を伏せているが、平均値には含む。

- 業種別にみると、製造業は53万2,620円で前年と比べ1万3,970円、率にして2.56%下回り、3年ぶりのマイナスとなった。6つの業種のうち4業種で前年を下回り、特に機械金属が5%以上のマイナス、前年大きく伸ばした電気機器も4%以上のマイナスとなった。
- 非製造業は41万3,212円で前年と比べ871円(0.21%)とわずかに前年を上回った。プラスは2年ぶり。運輸・通信や卸・小売で5%を超えるマイナスとなったが、その他サービス業が2ケタのプラスで非製造業全体をけん引した結果となった。
- 規模別では、従業員200人未満の2つの区分で前年を上回ったが、200人以上の2つの区分では前年を下回った。
- 支給額の分布では、30万円台が23社と最も多く、次いで40万円台以上(17社)、50万円台(16社)と続いた。70万円以上13社のうち、製造業が12社を占めた。
- 前年の支給額と比較できる92社のうち、前年を上回った企業が53社と全体の57.6%を占めた。下回ったのは24社(26.1%)、昨年と同額は15社(16.3%)だった。

支給額の分布



増減率(対前年)の分布

